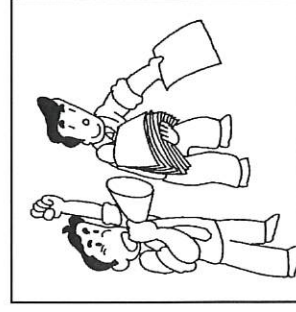


全国 検査数労連

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
 福会館 5 階
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
 メール roren@kensu.jp
 ホームページ http://www.kensu.jp/
 全国検査数労働組合連合
 書記局



第51回 全国検査数労連定期大会開催!

検査を取り巻く環境は、既存業務（在来船・港湾倉庫でのラバン・バンニング作業）などの減少に歯止めが掛かっていない中で、損保業務や中古自動車等の放射線測定業務などの検査業務が既存業務を補う形で推移している状況となっています。また、職場の状況では4月1日から施行された『働き方改革関連法』による新たな時間外労働の上限規制が導入され、時間外労働に制約が掛かりました。しかしながら、依然として適正人員が配置されず過重労働を余儀なくされている職場が多く存在するなど、十分な人員対策ができていない現状があります。そのような中で、検査数労連として人員対策や時間外に依存しない賃金体系の

【18年度経過と総括】

9月26・27日にかけてホテルシーパレスリゾート豊橋で第51回全国検査数労連定期大会が開催され、18年度運動の到達点と総括、19年度運動方針（案）について活発な議論が交わられました。また、今定期大会に来賓として激励の挨拶をしてくださった全国港運：玉田書記長、日本共産党：武田参議院議員、全労連：岩橋副議長、交運共闘：安藤副議長をはじめ、激励のメッセージを送っていただいた共闘関係の皆様には、紙面を借りて厚く御礼を申し上げます。

【19年度運動方針】

検査数労連のこれまでの運動と学習の積み重ねに確信を持ち、直面する課題に即応した運動が求められることから、中央本部、地域労連・支部が連携しながら「くらし、雇用、平和を守る運動」「雇用の維持、拡大」「生活の安定に向け



確立に向け、春闘や一時金をはじめとした労使交渉や協議を両協会と積極的に行って改善を図ってきた経過が報告されました。

各代議員からは、無検査作業に関する中央と地区の連携強化や中古自動車の放射線測定に対する検査員の安全対策と職域確保の要請。働き方改革関連法に基づいた時間外管理と年休・週休を含めた各休暇の消化率向上、産別協定にある『2020年週休2日制の完全実施』についての具体的な実施時期などの報告や質問、意見などが出されました。



た経済要求の前進」「組織強化、拡大」の4点を基調とした検査数労連運動の前進をはかっていることを確認しました。

また、基本的課題を積極的に取り組むとともに、職場の切実な要求や諸課題の前進に向けて全組合員の衆知を集めさせながら、全労連、国民春闘共闘、交運共闘、全国港運などに結集し、平和と民主主義、国民本位の政治の転換をはかるべく安倍政権の独裁政治を許さない国民的共同行動を上げ奮闘していくことを確認しました。

経済闘争では、「生活の安定」を第1義に据えながら全力でたたかっていくとし、とりわけ、20春闘では「賃金は生活費」という賃金の生計費原則をもとに「職場要求アンケート」を秋闘段階で取り組み、組合員の生活面や就労面など率直な意見を吸い上げていくとともに中央による全国オルグを実施していくことを確認しました。

【2019年度中央役員体制】

中央執行委員長	瀬戸 修	(東京)	: 再任)
中央副執行委員長	山田 拓	(横浜)	: 再任)
同	石井 和正	(横浜)	: 再任)
中央書記長	光部 泰宏	(名古屋)	: 再任)
中央書記次長	石渡 周二	(東京)	: 再任)
会計監査	加地 俊永	(神戸)	: 再任)
同	小室 平次	(東北)	: 新任)

※前任の会計監査：木村さん、3年に亘る会計監査員お疲れ様でした。

※当面の日程

10月23～24日 検査数労連代表者会議!
11月14～15日 全国港運中央行動!

検査数労連として最重要課題と位置付けている組織強化拡大では、要求実現の大きな原動力は『組織の拡大と強化』であるとの認識のもと、若手を主体とした学習活動に重点を置くことや、春闘時には可能な限り中執による全国オルグを展開することも、「100名組合員」をめざし、取り組んでいくことを確認しました。

全体的には港運の自動化・機械化には反対の立場で臨み、検査数事業が果たしている役割を全体で認識し、生活の安定に向けた取り組みとして「仕事と収入の確保」運動を日常活動の実践課題と結合させて取り組んでいくことを確認しました。